【必読】 がん検診・胃がんリスク検査の注意事項

【肺がん検診】
・上半身は無地で装飾のないものを着用。ネックレスやベルト等の金属類は着用しないでください。
・糖尿病治療用のインスリンポンプや持続グルコース測定器を装着中は受診できません。
事前にかかりつけ医にご相談ください

【胃がん検診(バリウム検査)】
・**検診前日の午後 10 時以降～当日の朝も絶食となります**(飴、ガム、タバコなどを含む)
水分摂取について(水のみ可。お茶・コーヒ・牛乳なども不可)
・前日:就寝まで制限なし
・当日:起床後～検査 2 時間前までにコップ 1 杯(200ml 程度)は可。検査 2 時間以内は禁止。
・上半身は無地で装飾のないもの、ズボン等についてはボタン・ファスナーのないものを着用してください
(例)トレパン、ジャージ等
・バリウムは無害ですが、具合が悪くなったことがある方は検診をお控えください
(例)便秘になった、じんましんが出た等
・胃や大腸の手術を受けた方や現在治療中の方は、集団検診ではなく、主治医において定期的な検診や治療を引き続き受けることをお勧めします
・検診後すぐに配布される下剤を必ずお飲みください
※会場に水分の用意がありませんので、ご持参ください

【子宮頸がん検診】**※貸出用のスカートはありません**
・**服装はスカートでお願いします。**お持ちでない場合はバスタオルを持参してください
・前日の性生活と膣洗浄は避けてください
・生理中の方は受診できません
・検診後、まれに出血や軽い腹痛がありますが、心配はありません。もし症状が継続する場合は、医療機関を受診してください
・性交渉の経験がない場合、がんの発生はほとんどないと言われています

【乳がん検診】
・羽織(ケープ)は設置しません。ご自身の衣類を羽織るなどして実施します
バスタオルをご持参いただいても結構です

～下記で該当される項目がある方は医療機関でご受診ください～
＊乳がん術後の方　＊妊娠中や妊娠の可能性がある方または授乳中の方
＊豊胸手術をされた方　＊CV ポート(薬剤注入器)が胸に入っている方
＊V-P シャント術をした方　＊ペースメーカー挿入の方　＊自覚症状のある方

【胃がんリスク血液検査(ピロリ菌抗体検査・ペプシノゲン検査)】
★血液検査によって、胃の健康度を評価する検査です
胃がんを直接見つける検査ではありません
・ピロリ菌の感染の有無を調べる「ピロリ菌抗体検査」と胃粘膜の萎縮の度合いを調べる「ペプシノゲン検査」を行います
ピロリ菌に感染する、胃粘膜の萎縮が進んでいると、胃がんになりやすいと言われています

～下記で該当される項目がある方は検査結果が正確に得られません～
＊現在、胃の痛みなどの自覚症状がある　＊ 胃・十二指腸の病気を治療中・経過観察中である
＊胃酸を抑える薬を服用中、または2か月以内に服用していた
＊腎不全である　＊胃がんになったことがある　＊胃を切除する手術を受けたことがある
＊ヘリコバクターピロリ菌除菌治療を受けたことがある
(除菌済の方で、除菌ができているかの確認は治療をした医療機関へご相談ください)